

団いやま森の会 活動記録（第 297 回）

2015.7.5 壱岐貞俊

日 時：2015.7.4（土）10時～15時 天気：曇

参加者：赤石・壱岐・西澤・野口・松戸・森山・山口 7名

場 所：大町会館（市川市）

活動報告：

・「第 3 回里山再生講座」（市川みどり会主催 わんぱくの森の会共催 市川市後援）に参加。

午前中：東農大 濱野周泰教授の講演

「住みやすいまちつくりと森」—豊かで安全な生活と緑とのつきあい—

午後は天候不順の為、わんぱくの森での行事が会館内に変更された。

講演要旨

安全をキーワードとし、格言・俗諺・実情と里山・植樹等との関連性を解き明かされた。

1) 「桜切るバカ、ウメ切らぬバカ」

腐朽防止剤が一般化し桜も安心して切れれるようになった。街路樹の桜は剪定等で樹形が本来的ではなくなるが、安全のために必要。

2) 「椿より下に住むな」

津波災害を経験した東北の或る里の俗諺だが、津波が押し寄せた高さに椿を植樹。

椿の種は下に落ちるので生育エリアは維持される。樹木の特性を災害対策に生かし豊かな里山を維持する工夫は学ぶ点がある。

タブは鳥による散布だが津波被害で枯れる。従ってある高さ以上に分布する様になるが、櫻は塩水に耐性があるようだ。…この辺は森の見方を示唆されていると思えた。

3) 「平場の金を拾いに行くな」

陸前高田の言い習わしにあるそうだ。森との関連はなさそうだが、津波災害を教訓にする俗諺として印象深い。

4) デング熱騒ぎ

代々木公園で大騒ぎをした。対応が水たまりの排除に躍起になっていたが、問題のヒトスジシマカは落葉で生育する。この点、お隣の明治神宮の森は世界に誇れる森で生物多様性に富み、土壤昆虫も豊富で、問題のカの発生を抑えている。…都市公園の在り方や現実的な対策に示唆的なお話ではある。

5) 大手の森

講師がこのプロジェクトを推進。地下街の上に赤檜主体の森を生み出した。昼食時の界隈の賑わいが多いに増したそうで、自慢の作品のようである。一見の価値ありか。

6) 「大八洲豊葦原の瑞穂の国」…日本はヨシアシの茂る自然豊かな美しい国の意のこと

7) 温暖化進歩による環境の変化

東京は既に亜熱帯域。国内の植生は徐々に変化している

8) 豊かな自然と危険（災害）は隣りあわせ…これが結語かなと思われた。

次回（7月 21（火））の予定

・8月 1 日（土）に予定している「森の楽校」の準備・その他。

以上

囲いやま森の会 活動記録（第 298 回）

壱岐貞俊

日 時：2015.7.21（土）10:00～13:00 天気：晴

参加者：壱岐・木村・佐久間・西澤・野口・馬場・三嶋・松戸・森山・山口 10名

活動報告：

- (1) 次回 8月 1 日開催予定の「森の楽校」準備
 - ・ブランコ・垂直登りのネット・木登りロープ・モンキーブリッジなどの設置
(ハンモックは外部貸出しのため、当日準備の予定)
 - ・竹ボッククリ・クラフト用竹材の切り出し
 - ・囲いやま入口と南広場の除草、清掃など
- (2) ケンポナシ周辺の草刈り
- ・日向では猛暑、森の中は風もほとんどなく、ロープ張りなど難行苦行の連続、
竹垣作りの男結びも経験したが、あまりの暑さにロープの簡単なはずの結い方を
思い出すのに四苦八苦。これらの技術伝承は容易ではない、と思いました。

打合せ等

- (1) 10周年記念行事：箱根湿生花園旅行の件

箱根湿生花園は、湿原をはじめとして川や湖沼などの水湿地に生育している植物を中心
にした植物園。園内には、低地から高山まで日本の各地に点 在している湿地帯の植物
200種のほか、草原や林、高山植物1100種が集められ、その他、珍しい外国の山草も
含め、約1700種の植物が四季折々に花を咲かせている。

- ・野口さんの骨折りで格安バスの手配がついた。
参加 20名としてバスと入園料込の参加費¥4500／人の見込み。
- ・囲いやま森の会メンバーの参加者は木村さんOKで都合 10名確定。
新井・井口・池田・鎌原・三嶋は後日に確認。

一期の会と里やま応援団の各期の皆さんに声をかけての募集を勧めたい。

- (2) 次回「森の楽校」について

- ・一起の会との共催で、当日実施の詳細は佐竹さん作成の計画表を参照ください。
- ・集合は 9 時。但し、ハンモック設置は別途実施要。
- ・佐竹さんから当会への依頼事項に、直接会場に来られる方への対応有。
参加費の徴収も依頼された。（壱岐が対応予定ですが、リマインド願いたい）
- ・尚、参加申込は低调なので、皆さん知人を勧誘するなどにも期待します。

観察記録

植物：ミズヒキ（開花）、キンラン（結実）、ヤマユリ（花が終わって小さい実ができていた）
虫：コミスジ、ニイニイゼミ、ジョロウグモ幼体、トウキョウヒメハンミョウ、
カブトムシの頭だけ（囲いやま産かどうかは不明）、タマムシの翅だけ、ナガサキアゲハ
鳥の声もいろいろと聞いたような気がします

*森山さんが軽い？熱中症で早退しています。気をつけねばなりませんね。



モンキー・ブリッジのロープ設置



鞆の木



工作用の竹を切り出し



南広場の除草



ケンボナシ周辺も除草

囲いやま森の会 活動記録（第 299 回）森の楽校

壱岐貞俊

日 時：2015.8.1（土）9:00～15:30 天気：晴

参加者：囲いやま：赤石・壱岐・井口・池田・岩田・佐久間・西澤・野口・野口Y・

三嶋・松戸・森山・ 12 名

一起の会：伊藤・佐竹・高木・高橋・深野 5 名

一般参加者：子ども 3 名、大人 3 名

活動報告：

(1) 一起の会と共に開催で、囲いやまにて 第 10 回「森の楽校」を開催。

- ・いつもより 1 時間早く集合し、ハンモックの設置・工作場所、紙芝居の小道具設営・竹細工用の材料運搬等手分けして実施。ブランコのロープ一調整も飛び入り、皆一様に汗まみれの状態。
- ・10 時過ぎ参加予約のゲストを迎える、挨拶・諸注意・ゲストとスタッフの自己紹介を経て、森の探検・紙芝居・森のアスレチック・森の広場での昼食・そして広場での工作と予定通りプログラムを消化。
- ・14 時過ぎゲストの皆さんのが感想を一方で伺い、一方では再度又汗にまみれながら会場の片付けを行い 3 時半過ぎ散会。

(2) ゲスト

- ・4 組の予約者のうち 1 組は子供さんの体調不良の為キャンセル。
結果 2 組の親子と昨年も参加の女性 1 名の計 6 名。

(3) 感想

- ・ゲストが少ないので一面残念だが、子供さん達の関心事に深くかかわられたという一面は今後のイベント実施の参考になろう。
- 森の探検でカブトムシの残骸が多く発見されたことを巡って、その多さへの疑問・雌雄の別・残骸の成因等子供たちとのやり取りはこれまでになく新鮮だった。
- ・棕櫚バッタの工作風景は、ゲストとスタッフが皆真剣そのものの風情を醸し出して居り、ゲストの世話に忙殺されるイベントとの違いが色濃く感じられた。
- ・池田・岩田さんが久しぶりの出席で、森の活動への熱い思いに触れる良い機会であった。
- ・紙芝居「囲いやまのポコ」は、高木さんにお願いして、初めての口演であったが、素晴らしい好評でした。

打合せ等

(1) 会創設 10 周年記念箱根湿生園旅行の件

- ・新井さんの意向確認が残るも現在、囲いやまメンバーの参加予定者は 12 名。

(2) 次回定例活動：8 月 18 日（火）

- ・夏休みの提案もあったが、北側道路沿いの雑草等が目立つので予定通り実施。



囲いやま森の会 活動記録（第300回）

壱岐貞俊

日 時：2015.8.18（火）10:00～12:00 天気：晴

参加者：赤石・新井・壱岐・木村・佐久間・野口・三嶋・山口 8名

作業記録：300回。2005年6月28日（日）熊野神社に集合。樹林の現地調査を行うために道なき森の道路の確保すべき作業により倒木を除去（スギ・ヒノキ・コナラ）、アズマネササ・アオキが群生しているので通路とする部分をカマ・ナタ・ノコギリ・ハサミ等で刈り分けて通路を結ぶように作業した。

活動報告：

1) 春先からの懸案事項：北側林縁部整備

- ・道路上に張り出た枯枝等伐採（ミズキ：小枝2本、ハリエンジュ：15cmφの幹と太枝1本）
- ・林縁部雑草や雑木の刈取り、伐採

北側道路沿いの藪でオオスズメバチが十数匹飛び回っているのを発見。通行人に被害が出る恐れがあったので、松戸市すぐやる課に連絡。午後3時頃から対策：巣穴は道路近くの木の根元付近。まだそれほど大きくなく、来年の女王蜂はまだいない模様とのこと。巣穴の中にバルサンを入れ、穴口を捨てられていた座布団でふさいだ。これで巣内の成虫、幼虫は死滅する。外に出ていた働き蜂も退治した。残っているものも巣に入れなければ数日で餓死すること。

フェンスにスズメバチ注意の張り紙をつけた。

2) 道路側草刈と整備

打合せ等

（1）箱根湿生花園見学（9月15日バス日帰り）

- ・囲いやま森の会の出席予定確定 12名、一起の会3名と合わせ15名。

里やま応援団の皆さんに声をかけ、参加募集：野口さんがアクション。

参加20名としてバスと入園料込￥4500/人の見込み（人数割りでの計算）

（2）虫の音を聴く会：一起の会が8月26日（水）18時30分～20時に八ヶ崎の森で開催。

しっかり虫除け、懐中電灯持参で、出来るだけ参加ください。

今年の囲いやまイベントでは、秋の虫の音を聴く会は見送り。

観察記録

カナカナ・ミンミンゼミ・アブラゼミ等の鳴き声を楽しんだ。



囲いやま森の会 活動記録（第301回）

壱岐貞俊

日 時：2015.9.05（土）10～12時 天気：曇

参加者：新井・壱岐・井口・池田・木村・佐久間・西澤・野口・野口y・馬場・
三嶋・森山・山口 13名

活動報告：

(1) 北側林縁部整備

前回スズメバチ騒ぎで中断した北側林縁部整備を継続実施した。

・道路上に張り出た枝等伐採

50φから100φのミズキの枝6本、同様サイズのサワラの枝5本程度
高所作業の基本動作確認及び道路監視の徹底を期した。

・伐採木の整理

本日の進捗は長さで5m程度、すっきりした反面、シュロの枯枝等整備対象が
顕在化した感もある。

打合せ等

(1) 箱根湿生花園バス旅行

・囲いやま11名、一起の会3名、更に秋山・3期各1名、わんぱくの森4名の
合計20名。保険を付保することにした。

囲いやま:赤石・壱岐・池田・木村・佐久間・西澤・野口・野口y・三嶋・森山・山口

里やまG:伊藤智恵子・高橋安子・佐竹道の、松田、三角

わんぱくの森::黒崎玉江・馬場昭子・田中和良・田中節子

松戸駅西口 松戸市民劇場前から7:00出発の予定。小雨決行。

(2) その他

- ・里山センター主催「千葉里山カレッジ リーダー養成コース」開催案内
- ・日本自然保護協会の企画する「牧プロジェクト」の紹介
- ・10月31日予定の「森の音楽会」出演するサークル変更の件 等
- ・新井さんが主演するYouTubeをご覧ください。

「SUSHI WARS-1 : <https://www.youtube.com/watch?v=VoNEGE5o3AE>

観察記録

センニンソウ、ツユクサ、ヤブラン、コブシ



北側道路沿いに張り出している枝落とし、作業の安全と交通安全に注意しながら、無事終了



2本のケンポナシが順調に生育、周りはクズ・カナムグラ・ヤブカラシが絡み、次回に刈払い予定



秋が近づき、カラスウリ・小粒のイガグリ・ヤブランとキノコ、クズの花が満開でジョロウグモが元気！



キノコいろいろ